



2025年8月7日

インフラファンド発行者名
エネクス・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 松塚 啓一
(コード番号 9286)
管理会社名
エネクス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 松塚 啓一
問合せ先 取締役兼財務経理部長 佐藤 貴一
TEL : 03-4233-8330

保有資産に係る月次発電量実績及び出力制御に関するお知らせ (2025年7月)

エネクス・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が2025年7月末現在で保有する発電設備の2025年7月の発電量実績及び出力制御につき、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績（第12期 2025年6月～2025年11月）

2025年11月期						
	物件数	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (注1) (A)	発電量実績値 (kWh) (注2) (B)	差異 (kWh) (B) - (A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂) (注3)
2025年6月	12	243,490.20	23,912,047	20,575,894	-3,336,153	8,929,938
2025年7月	12	243,490.20	24,842,885	24,127,526	-715,359	10,471,346
2025年8月						0
2025年9月						0
2025年10月						0
2025年11月						0
合計	—	—	48,754,932	44,703,420	-4,051,512	19,401,284

(注1) 「発電量予測値」とは、超過確率P（パーセンタイル）50の数値（50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。）としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。
（以下、「発電量予測値（P50）」といいます。）なお、胎内風力発電所に関しましては、稼働率を調整の上算出しています。

(注2) 上記累計発電量は、一般家庭約11,317世帯が1年間に使用する電力量に相当します。
※1世帯平均3,950kWh／年を基に算出（令和4年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査）

(注3) CO₂ 削減量は、各電力会社の調整後排出係数を基に算出したものです。
※環境省ホームページ参考：<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

2. 月次発電所別発電量実績

2025年7月						
	物件名称	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (A)	発電量実績値 (kWh) (注4) (B)	差異 (kWh) (B) - (A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)
S-01	高萩太陽光発電所	11,544.00	1,101,999	1,446,696	344,697	627,866
S-02	千代田高原太陽光発電所	1,595.28	144,742	223,102	78,360	96,826
S-03	JEN防府太陽光発電所	1,940.64	218,269	320,494	102,225	139,094
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	1,007.76	95,523	140,396	44,873	60,932
S-05	銚田太陽光発電所	24,195.62	2,695,582	2,760,264	64,682	1,197,955
S-06	長崎琴海太陽光発電所	2,661.12	302,837	381,662	78,825	165,641
S-07	松阪太陽光発電所	98,003.40	10,208,499	12,154,016	1,945,517	5,274,843
S-08	新城太陽光発電所	1,540.00	150,921	200,738	49,817	87,120
S-09	紋別太陽光発電所 (注4)	15,704.64	1,706,542	960,120	-746,422	416,692
S-10	高崎太陽光発電所A (注4)	11,618.64	1,349,100	984,048	-365,052	427,077
S-11	高崎太陽光発電所B (注4)	53,679.10	6,199,246	4,002,960	-2,196,286	1,737,285
W-01	胎内風力発電所	20,000.00	669,625	553,030	-116,595	240,015
	合計	243,490.20	24,842,885	24,127,526	-715,359	10,471,346

(注4) ・「発電量実績値」は、千代田、玖珠、長崎琴海、松阪、紋別、胎内以外は電気事業者の検針票データを基に記載しています。

・紋別太陽光発電所では、発電制御装置の通信系部分に不具合が発生し、北海道電力との取り決めにより発電所全体の発電を抑制して稼働しておりました。そのためP50予想比56%の進捗となっておりますが、本公表日現在、修繕は完了し完全稼働に向け確認作業中となります。

・高崎発電所AおよびBは、6月5日の高崎Bにおけるパワコン焼損事故以降、7月中は安全に配慮しパワコンの出力を下げて操業しております。その結果P50予想に対して高崎Aは73%、高崎Bは65%の進捗となりました。なお復旧に向けて、8月4日より全パワコンの部品交換を開始しており、8月中には焼損したパワコン4台以外の交換は完了する予定です。焼失したパワコンの逸失収益は保険求償を予定しています。

3. 出力制御の実施について

2025年7月において、本投資法人の保有する発電設備に対し、出力制御は実施されませんでした。

以上

※本投資法人のホームページアドレス：<https://enexinfra.com/>